

# 第1回きずなづくりトーク（長伏小学校区） 概要記録

平成24年6月8日  
中郷文化プラザ

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	町内の真ん中に公民館があり、老人会、子ども会など年間2500人以上が使用していて、地域活動の基点となっている。運動会、祭り、しゃぎり、盆踊りなどの町内活動を子ども主体にすると、親も集まるので人数が集まる。子どもは地域の宝事業で、お祝いを公民館の2階で行った。いろんな話ができ好評だった。
自治会長	神社を中心とした祭り、どんど焼き、防災訓練、運動会などを行っている。公民館で月1回生け花教室、月2回書道教室、フラダンス、3B体操を開催している。夜間パトロールを月2回19:30から30分程度、6月から12月まで行う。パトロール参加者同士で話をしながらだんだん仲良くなっていく。スクールガード活動もある。
自治会長	世帯数が少ないので、組織がしっかりしていない。子どもは地域の宝事業で、私はサンタクロースの服装をし、子ども達50人を集めてお祝いをした。事業対象者は15人だが、5人しか参加しなかった。個人情報の問題もあるが、市から要請するよりも私が頼んだほうが来てくれると思う。災害弱者は障害者以外にもたくさんいて、全員の面倒は見れない。どんど焼きは130人程集まった。高齢者が子どもにぞうり作りを教える行事をやっている。スクールガード活動も行っている。不審者情報が多いので、しっかり見回りたい。
子ども会	子ども会として、運動会、ドッジボール大会、年2回の廃品回収のお手伝い、どんど焼き、地域の祭りに参加している。
幼稚園PTA	松本幼稚園は地域の皆様にかわいがってもらっている。年4回の廃品回収があるが、今年度は1回、近所の事業所に行って回収させてもらった。東レフィルム加工から絵本を贈呈してもらい、夏に園庭の整備をしてもらった。松本幼稚園は駐車場がないことが問題になっている。去年から、運動会の時に近くの会社の駐車場を貸してもらっている。PTA役員をやって初めて地域のつながりの大切さを知った。
中学校PTA	御園園と交流がある。年2回廃品回収を行っている。年1回バザーを行い、地域の皆さんに出展してもらっている。運動会にはPTA参加種目があるので交流がある。中学生を対象に救命講習をすることと、バザーの利益を使って食料を備蓄することを中学校に提案している。
小学校PTA	PTAが主体的にできることは限られている。グラウンド、お手洗いの整備・清掃作業、年2回の廃品回収、スクールガードの協力を得ながら見回り活動などを行っている。今年から整備作業に自治会役員が協力してくれるようになり、子ども達と地域の方が接点を持てるようになった。市長の呼びかけでGW明けの7日に通学路の見守り運動を地域の方が行ってくれたが、保護者の参加が少なかったと思う。廃品回収は、学校で持ってくる人を待つのではなく、自分たちから地域に出向いていくようにしたい。
自治会役員	長伏小学校ではあいさつ運動が活発なようなので、小学生はあいさつをしてくれる。中学生は照れがあるようだが、こちらからあいさつすればきちんと返してくれる。高校生はマナーが悪い。自転車の右側通行を注意したが、直してくれなかった。保護者のマナーも悪い。校門付近で立ち話をしている子どもの通行を妨げている。親が意識を変えないと子どもは良くなるらない。
環境美化推進委員	役員が見守るようにしたら、ゴミの出し方のマナーはだんだん良くなってきている。

発言者	発言要旨
体育振興会	スポーツ活動はすべてきずなにつながると思うが、参加しなければ意味がない。グランドゴルフをやっているが、高齢者と知り合いになれている。より多くの人に参加してもらうにはどうしたら良いか考えている。保健委員との連携はできていない。
老人クラブ	会員は107名いる。毎月第1, 3火曜日に定例会を行っている。定例会の出席率は40%程度で、内女性が9割で圧倒的に多い。活動としては、踊り、輪投げの練習など。全員が参加できる行事を考案中、例えば将棋、囲碁、グランドゴルフなど。
民生委員	特に女性が活発であるが、踊り、グランドゴルフなどでみんな健康づくりをしている。
幼稚園長	各町内会で子育て支援に力を入れているという話を聞いてうれしく思った。松本幼稚園の園児は増え続けて、現在108名いる。去年は希望者が定員を超えてしまったので、今年は定員を増やした。部屋が不足している。市と町内会の子育て支援策、他地区から引っ越してくる人のおかげで長伏地区では子どもが増えていると思う。
小学校教頭	地域の人は学校にとっても協力的。スクールガードなどの活動に感謝している。子どもたちの生きる力が弱くなっていることが課題で、大人と接して学ぶことが大事。そのために、子ども達を地域行事に積極的に参加させていきたい。家族同士のふれあいも大切。地域の大人には学校行事に参加して子ども達の様子を見守ってほしい。昔のように地域で子どもを育てていくことが大切だと思う。
中学校教頭	奉仕作業には親子共々400人ほどが集まってくれ、トラック7台分のゴミが集まった。保護者については、小学校までは行事に参加してくれるが、中学校から行事に参加しなくなってしまう。中学校でもいろんな行事を行っており、例えばブラスバンド部では、安久のお花畑コンサート、中郷地区全体の老人会会合での演奏会などを行う予定。アルミ缶、ダンボール、牛乳パックの回収を行っており、桜の苗木を10本、被災地の山田町へ送った。あいさつ運動も、部活動で交代で行っているが、中学生はあいさつを恥ずかしがってしまうので、地域の人にも来てほしい。キャリア教育を行っており、企業へ中学生を派遣したり、教員体験のために田方農業高校など他学校の生徒を受け入れている。部活動では、地域の方に指導をお願いしている。体育館とグラウンドを一般向けに開放している。
自治会役員	長伏はいろんな行事をやっている。防災訓練は500名ほど参加しているが、ここ4, 5年は小学生、中学生が徐々に参加してくれるようになった。中学生には自分たちでできることを親の手助けを借りずにやらせてみたい。天王山の祭りがあるが、主催しているのは子ども会、シャガリの子ども達で、周りの大人はサポート役。
体育振興会	長伏では5月に、中郷4町内と長伏3町内で合同で体育祭を行っている。子ども会がなくなっている現状で、開催に苦労している。昨年度は、体育祭の昼休みに、救命救急士の資格を持つ方にAEDのデモンストレーションを行ってもらった。消防団が衰退しているが、今年度の体育祭で団員に講演の依頼をしたい。
自治会長	長伏公園で、滑り台の補修工事をやっていて立ち入り禁止場所がある。テープで巻いているだけなので、子どもが入ってしまう危険がある。時計が故障中で止まってしまっているので、子どもの帰宅時間が遅くなってしまう恐れがある。
自治会長	御園の第一避難場所は長伏小学校だと伝えている。中郷西中学校もあるが、収容人数が足りないので使えない。水害が起こったときは長伏小学校までたどりつけないのでお手上げ。勝手に逃げてくれと言ってある。

発言者	発言要旨
自治会長	災害時の避難場所は、松本では中郷西中学校になっているが、松本公民館も使用可能。公民館には、前年度支給された水と、今年度支給された食料の蓄えがあり、さらに災害時のための備蓄を増やしていく。
自治会長	3. 11の地震以降、町内の人々は災害に対してかなり神経質になっている。長伏小学校がある場所は液状化の危険がある。長伏の避難場所は長伏小学校となっているが、町内でもどうするか意見が分かれている。
子ども会	子ども会で防災ラジオを購入した。
自治会長	家の中にいると、防災ラジオの電波が入らない。
幼稚園PTA	幼稚園では、防災訓練と不審者対策訓練を行っている。そういったときは、保護者が子どもを引き取りに行くので、引渡し訓練も行う。3. 11の震災の時には、家に子どもといて怖い思いをしたので、それをきっかけに防災グッズを揃えるようになった。子ども達が幼稚園にいるときに地震が起こったら、保護者が子どもを引き取りに行くまでに時間がかかると思うので、水などの備蓄を用意しておく必要があるのでは。松本幼稚園では毎年救命講習を行っており、心肺蘇生、人工呼吸、AEDの使い方などを保護者も加わって教わっている。
小学校教頭	3. 11の時、フェアキャストが機能しなかった。それをきっかけに、従来の固定電話を使った連絡網を復活させようという動きが起こっている。
中学校教頭	3. 11の時、仙台にいた家族とは連絡がとれず、携帯電話のワンセグしか使用できるものがなく、大津波警報が出ていることも知らなかったようである。学校では、震災時どうやって身を守るかを第一に考えている。従来のマニュアル通りの訓練では意味がない。中学校がある場所は海拔が低いので、昨年の訓練では、三階にまず避難し、メガホンで指示を出し、ワンセグを見て情報を確認した。下校途中で地震があった場合はまず高い場所に避難するように指示している。
中学校PTA	この間、国道136号線で事故が起きたとき、ボイスキューが機能していなかったため、交通規制の情報が伝わらなかった。消防団員に中学校に来て救命講習を行ってほしい。または、消防団員の救命講習の更新のとき、講習を中学校で行えば中学生も一緒に勉強できる。